

母塾

2021・6・23

illustrated by kurumi

VOI-58

『 子どもにとって 最高の褒め言葉は 』 いのはなはるこ

子どもにとって最高の褒め言葉は
「すごいね」でも「よく出来たね」でもありません。
それはおとなの要求や期待に応えたという合格の印鑑です。
「じゃ、出来なかったら？」という思いがいつもくっついてきます。

子どもにとって言われて一番つらいことは
「だめだね」でも「出来なかったね」でもありません。
それはおとなの目から見たただの不合格の印鑑です。
「出来るようになればいいんでしょ」という思いも湧いてきます。

子どもにとって最高の褒め言葉は「ありがとうね」です。
みんな自分の居場所を確保したいのです。
誰かに「ありがとうね」と感謝されたいのです。
ひとはみな、自己重要感、自分はここに必要なんだと思いたいのです。

子どもにとって言われて一番つらいことは
「居なくても大丈夫」や「じゃま、どいて」です。
居場所を失う、誰にも必要とされていないことはきついです。

おとなも同じではないでしょうか。「ありがとうね」を集めているのです。
「一緒に居てくれて、一緒にやってくれて助かるわ」を配りたいです。
「このグループにいてくれて良かった」「手伝ってもらって助かったわ」
ママもパパもおじいちゃんもおばあちゃんも、誰かに必要とされたいのです。

野球の試合で打っても打てなくても・・・
「試合見られて面白かった！ありがとうね」と言われたらうれしいです。

本当は、何もしてもらわなくても居てくれるだけでいいんですよね。
産まれて来た時は、ただただ「ありがとうね」と言ったのですから。

